アサギマダラの飛来する魅力ある地域づくり

小学校低学年 | **小学校高学年** | 小学校中学年 | 中学校

ＥＳＤの要素

持続可能な社会づくりの構成概念

多様性 | **相互性** | **有限性** | 公平性 | 連携性 | 責任性

ESD視点で育みたい能力/態度

【批判】批判的に考える力 | 【未来】未来像を予測して計画を立てる力 | 【多面】多面的、総合的に考える力 | **【伝達】コミュニケーションを行う力** | 【協力】他者と協力する態度 | 【関連】つながりを尊重する態度 | **【参加】進んで参加する態度**

プログラムの目標

①アサギマダラが卵から蝶になるまでの観察を通して、その一生に関連する事柄へ関心を持ち、地域の多様な自然環境の認識や探究する力を育てる。
②生き物の成長する過程で命を大切にする心を育てる。
③地域の人や環境保全団体等のお話を聞いて交流する中で、地域の魅力に気づくと共にコミュニケーション力や共感力を育てる。
④他の児童と協力し合い、学んだことや大切にしたいことをまとめ、他の人に伝える力を育てる。

プログラムの概要

アサギマダラについて知っていることや疑問などを出し合い、専門家にその生態やマーキングの方法、その狙いなどを学ぶ。その後、アサギマダラが飛来する里山において捕獲、観察、記録、マーキングをするとともに、周辺の自然環境を観察し、生態系等についても学ぶ。卵や幼虫の数、大きさの変化を記録することで、命の大切さなどに気付く。また、地域の人から里山（秋葉山）の歴史、文化を聞き、一緒に地域の米や水でご飯を炊き、おにぎりを作り味わう中で地域の魅力やつながりを意識する。これらの体験をふまえ、自分たちがこれから大切にしたいことをわかりやすく伝えるため、協力し合ってまとめ、地域の人や全児童に対して発表する。

学習指導要領との関連

学年	小学校	小学校6年
教科/領域	総合的な学習の時間	理科
学習内容	第3取扱1-（5）　学習活動については，学校の実態に応じて，例えば国際理解，情報，環境，福祉・健康などの横断的・総合的な課題についての学習活動，児童の興味・ 関心に基づく課題についての学習活動，地域の人々の暮らし，伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動などを行うこと。 2-（3）　自然体験やボランティア活動などの社会体験，ものづくり，生産活動などの体験活動，観察・実験，見学や調査，発表や討論などの学習活動を積極的に取り入れること。	B（3）　生物と環境 動物や植物の生活を観察したり，資料を活用したりして調べ，生物と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにする。 ア　生物は，水及び空気を通して周囲の環境とかかわって生きていること。イ　生物の間には，食う食われるという関係があること。

持続可能な社会の構成概念

相互性

生物は、その周辺の環境と深く関わって生きていることに気付く。

有限性

自然観察の体験活動によって生命の有限性を学び、生命を尊重する態度を培う。

ESDで育みたい能力／態度

批判

体験や学びを通して得たことを、理解し、自分の言葉で伝えることができるようにする。

参加

観察やまとめの作業において自分の意見を出し、まとめに積極的に協力する力を育む。

伝達

教室でのワークは、個人の考えを書き班や全体でまとめる方法を実施。自分の考えを簡潔に伝える力を育む。

プログラム（単元・題材）の展開の流れ

総時間 10時間

アサギマダラの飛来する魅力ある地域づくり

	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕	
1時間目	**コンセプトマップを作ろう！**		批判 未来
	班別でアサギマダラについて知っていること、知りたいことを出し合う。	・「知っていること」「質問したい事」などを付箋に出し合い、言葉を整理し、講師への質問をまとめる。 〔付箋、模造紙、マーカー〕	多面 伝達 協力 関連 参加
2時間目	**アサギマダラの生態について知ろう！**		批判 未来
	アサギマダラの調査・保全活動をしている人からその生態や質問について教えてもらう。 記録の方法を体験する。	・写真を多用しながら講師によりアサギマダラの生態を学ぶ〔スライド、パソコン、プロジェクター等〕 ・講師が前日に捕獲してきたアサギマダラを観察し、マーキングを行う。 〔記録表、油性マーカー、物差し、画板、アサギマダラ〕	多面 伝達 協力 関連 参加
3・4時間目	**アサギマダラのマーキングをしよう！**		批判 未来
	アサギマダラの飛来する里山に行き、周辺の環境の観測や蝶を捕獲し、観察・記録体験を行う。	・講師による体験指導 ・里山に行き、アサギマダラの飛来する環境を観察するとともに、自分で工夫しながら捕獲体験を行う。 ・自分で捕獲した蝶を観察し、調査表に記入、放す体験を繰り返す。 〔捕獲網、記録表、油性マーカー、物差し、画板〕	多面 伝達 協力 関連 参加

	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕	
5・6 時間目	**アサギマダラの産卵状態を観察しよう！**		批判 未来
	秋葉山に毎月行き、卵や蛹の状態を記録する。	・調査する木を決めて卵や蛹の数や状態を観察・記録する。 〔記録表、画板、筆記用具、ルーペ〕	多面 伝達 協力 関連 参加
7時間目	**秋葉山と地域のつながりを知り、これからの行動を考えよう！**		批判 未来
	地域の歴史や文化を学び、地域と自然とのかかわりを知る。	・秋葉山と地域とのつながりについて、地域の人の話を聞き、自分とのつながりを考える。 ・アサギマダラを学校や地域の特色として、今後どのような活動につなげるか考える。 ・地域のお米でおにぎりをつくり、地域の恵みをいただく。 〔炊飯器、米、地域の水、塩〕	多面 伝達 協力 関連 参加
8・9 時間目	**考えをまとめ、発表の準備をしよう！**		批判 未来
	観察活動を通して気づいたことをまとめ、自然と生物、地域との関連を考える。	・アサギマダラの一生に関連することには何があるか考える。 ・活動を通して気づいたことを個人で付箋に書き、班で意見を出し合いまとめる。 ・全体で共有し、言葉の意味を確かめながらつながりを考える。 ・アサギマダラの一生には植物の存在が欠かせないことから、植物の環境や地域の自然がそれぞれ深く関連していることに気づく。 〔付箋、模造紙〕	多面 伝達 協力 関連 参加

	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕
10時間目	**発表しよう！**	
	学校内でわかりやすく発表する。	・PTAや全校児童対象にアサギマダラの観察結果とその一生には地域の自然が重要であることをわかりやすく伝える。 〔模造紙、マーカー〕

批判　未来　多面　**伝達**　**協力**　関連　**参加**

地域プログラム化メンバー、実証協力校等

地域プログラム化メンバー
・高知工科大学
・アサギマダラの里in秋葉山
・四万十町立窪川小学校
・高知県林業振興・環境部新エネルギー推進課
・株式会社西日本科学技術研究所
・株式会社RKCプロダクション
・高知県森林研修センター情報交流館
・香美市立片地小学校

実証協力校等
・香美市立片地小学校